

助成者	反町 眞理子	活動期間	2022年4月～2025年3月 活動中
所属機関	コーディネエラ・グリーンネットワーク	職名	アドバイザー

フィリピン・ルソン島北部山岳地方における環境教育教材としての民話絵本とラジオドラマ制作

【活動場所】 フィリピン ルソン島北部山岳地方

【事業目的】 ルソン北部の先住民が伝えてきた自然との共生の叡智を民話の中に見出し、環境教育教材としてワークショップで子供たち自身が描いた絵による民話絵本を制作する。民話絵本は地域の学校などに配布し、教材等として活用する。また、民話の語り部のビデオ映像を公開し、民話をもとにしたドラマ（演劇）ワークショップやダンスワークショップなども開催し、貴重な伝統文化を次世代に継承するとともに世界に発信する。



民話の語りをビデオ撮影している様子



環境＆アートワークショップの様子

【活動内容】

- ①長老を訪問し民話の語りをビデオ及び写真撮影（マウンテン州タジャン町、イフガオ州フンドゥアン町の3村）
- ②収録した語り部の内容を教育教材にするためのカンカナイ語への書き起こし。併せて書き起こしの英語訳、日本語訳の実施。
- ③画家の高濱浩子氏を招き、タジャン町の8小学校で民話をテーマに子どもを対象とした環境＆アートワークショップ開催。当事業の状況を日本の各地で発信。
- ④イフガオ州フンドゥアン町の4小学校で演劇＆アートワークショップを開催

【活動状況】

当初はラジオドラマ制作を予定していたが、コロナによる移動制限が無くなり身体の動きを伴う演劇ワークショップ開催の要望が学校側からあり計画を一部変更。民話の翻訳が想定以上の労力がかかり、伝統文化継承者の監修を入れるなどの調整に時間を要した。3年目はダンスを取り入れた環境＆アートワークショップを行い、創作されたダンスはビデオ制作してバギオ市や日本の鳥取、京都などで上映する予定。